

村・教育行政報告

第四回定例会

平成二十六年第四回議会定例会が十二月九日から十七日の日程で開催され、議会初日、村長・教育長が村・教育行政報告を行いました。

行政報告

村長 東 出 輝 一

▽要望・要請活動

《中央要望活動》

●十一月十三日・十四日、石狩川治水促進期成会の中央要望に同会の副会長として、平成二十七年治水関係予算の大幅確保に向け、財務省と国土交通省に要望した後、北海道選出の国会議員に対して要請をしました。

●十一月十九日、全国町村長大会に出席。安倍内閣総理大臣を始め、多くの閣僚の方々が来賓として出席された中で「東日本大震災からの早期の復興を図るとともに、全国的な防災・減災対策を強力に推進すること」など九項目の大会決議を行いました。

▽企画振興関係

●札幌市の小学生との「農業体験交流事業」は、九月二十六日、稲刈り作業を実施しました。

十一月二十七日、新小五年生全児童が新米を西岡北小学校に届けました。

●十月二十七日、札幌広域圏首長会議が開催され出席しました。今回は、当別町で開催され、北海道医療大学や社会福祉法人ゆうゆう「べこべこのはた

け」を視察。懇談会では、「地域の若者たちによるまちづくり」をテーマに、社会福祉法人ゆうゆうの大原裕介理事長の講演のあと、意見交換をしました。

●十一月二十七日、ニューしのつゴルフ場の今シーズンの営業が終了しました。今年は、四月二十六日にオープンし、早朝を含め、約二万二千人の利用があり、昨年度より約千百人上回りました。

●十一月三十日、しんしのつ温泉「アイリス」が閉館しました。今年度は、約五万五千人の利用がありました。最後の六日間は、無料開放をして、大勢の村民の皆さんにご利用していただきました。

平成三年の開館以来、二十三年間で、約三百四十七万人のご利用をいただきましたことを改めて感謝申し上げます。●青空まつりの山車を保管していた旧村民体育館の老朽化に伴い、役場の西側に山車会館を建設。構造は、鉄骨造りの平屋建てで、規模は、延床面積八〇一・一七平方メートル、高さ六・一五メートルで、テントや看板等を収納する

物品庫と併せて建設しました。

●十一月二十一日、各自治区関係者及び関係団体の皆さんに百人以上集まっていたいただき、山車十三基の移動作業を行いました。

▽防災関係

●十一月八日、中央自治区を対象とした防災訓練を実施。当日は、区民百七十名の参加を頂きました。

●十一月十二日、第五自治区を対象とした防災訓練を実施。当日は、たかくら保育所の避難訓練も併せて行い、総勢七十四名が参加。平成二十三年度より各自治区毎に実施した防災訓練も今年度で一巡したところです。

▽交通安全運動

●十一月十一日から二十日まで、冬の交通安全運動が展開され、街頭指導を行いました。

▽福祉関係

●村内循環バスは、十一月末日で運行を終了。四月からの運行回数は延べ百四十回、利用者数は三百一人、一回あたりの乗車数は二・一五人となっております。

また、十月二十日から今年で二年目となる乗合タクシーの運行を試行。登録者が百三十一人となりました。

●高齢者世帯や障がい者世帯に対する除雪サービスは、十一月末までに申請のあった三十世帯に対し、除雪サービスの決定を行いました。

●十一月十二日、高齢者対策として、コープさっぽろと高齢者等の孤独死防止対策としての業務協定を行いました。

▽保健・医療関係

●十一月十九日・二十日、本年度最後の特定健診とがん検診を実施しました。●高齢者に対するインフルエンザの定期予防接種助成は、村広報十月号で周知を図っていますが、今後流行が予想されることから、多くの方が接種されるよう望むものであります。

●十一月二十一日、保健センターで「糖尿病について、専門病院受診メリツト」と題してコンサドール札幌専属栄養士で、株式会社ウエルネスプランニング札幌小松信孝代表取締役を講師に糖尿病講演会を行いました。

▽農業関係

●本村の水稲作付実績は二千二百六十七畝で転作率は五十二・九割となりました。

●ライスファクトリーでの米の受入状況は概ね一万六千石、製品としては約十九万俵と見込まれています。